

本会・他学会水環境関連行事一覧

開催期日	行事	開催地	案内記事 掲載巻号
2024年			
9月 14日(土)	第61回水環境フォーラム山口	山口, オンライン	47巻8号
25日(水)	第24回環境技術学会年次大会および講演会	大阪	本号
10月 28日(月)	令和6年度日本水環境学会関東支部見学会	新潟	本号
29日(火)	第30回膜分離技術セミナー	東京, オンライン	本号
11月 16日(土)	公開シンポジウム:「水辺のすこやかさ指標」の今後の展開への期待	東京, オンライン	本号
22日(金)	2024年度産総研エネルギー・環境シンポジウムシリーズ 水環境浄化・計測のための環境バイオ技術の最前線	東京	本号
26日(火)	FY2024 JDA FORUM	東京	本号
12月 3日(火)～5日(木)	The 14 th International Symposium on Southeast Asian Water Environment (東南アジア水環境国際シンポジウム)	クアラルンプール (マレーシア)	47巻7号
2025年			
3月 17日(月)～19日(水)	第59回日本水環境学会年会	札幌	本号

「水環境学会誌」原著論文編 発刊頻度の変更について

日本水環境学会では、水環境分野における質の高い査読付き論文を掲載する機関誌として、1978年に「水質汚濁研究」を創刊しました。1992年には「水環境学会誌」と誌名を変更して46年が経過し、現在に至ります。この間、学術出版を取り巻く情勢も大きく変化し、電子ジャーナル化が進展したことを受けて、2010年には紙媒体の水環境学会誌への原著論文掲載からJ-STAGE上でのオンライン公開へと切替えることで、原著論文出版の迅速化を図ってきました。しかしながら、論文公開は年に6回(奇数月)に限定されており、受理されてからも論文掲載までには比較的長いタイムラグが存在する現状があります。

そこで、よりスピーディーな論文公開による本会機関誌の競争力向上を目的として、日本水環境学会では2025年1月から、「水環境学会誌」原著論文編の号を廃止することを決定しました。受理された論文は、出版準備が完了したのから順次オンライン公開されます。この変更にともない、これまで12月号として年1回お届けしていた原著論文編再録についても、2月号掲載に変更となります。

なお、冊子体の「水環境学会誌」特集企画編はこれまでと同様、月刊として皆様のお手元にお届けし、奇数月の号に原著論文編要旨を収録いたします。引き続き、ご高覧いただければ幸いです。

今後とも、会員の皆様による「水環境学会誌」原著論文編への最新の研究成果の積極的な投稿をお待ちしております。

原著論文編集部部长 金田一 智規
編集委員長 大河内 由美子

会員登録データ変更の届け出について（お願い）

住所、所属変更等、本会に登録されているデータに変更のあった場合には、ホームページの会員専用ページ (<https://www.jswe.or.jp/member/>) よりご登録の変更をお願い申し上げます。メールアドレスの登録がない方、登録アドレスを忘れた方は、メール (member@jswe.or.jp) または Fax にてお問い合わせください。お電話での変更のご連絡は受け付けません。会員は年度毎（4月→3月）の扱いで、退会のお手続きがない場合には、自動的に会員登録が継続となります。なお、学生会員は年度ごとの資格ですので、2023年度の学生会員は2024年3月末日に失効になりました。

また2013年度より特別正会員制度も新設されています。この制度は、満65歳以上で、水環境関連分野に従事、または関心を有し、本会に対し功労のあった個人を対象とするもので、学会コミュニティにおいて、継続的に知識や経験を活かした活動に取り組んでいただくために設けられたものです。資格要件など詳細は本会WEBサイト (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>) をご覧ください。

本会関連行事

第59回 日本水環境学会年会 研究発表申し込み案内

第59回日本水環境学会年会を次の要領で開催いたします。多数の発表申し込みを期待いたします。諸否は年会実行委員会が行いますので、予めご了承ください。

1. 概要

内 容 一般研究発表
(口頭発表とポスター発表のセッション)
期 日 2025年3月17日(月)～19日(水)3日間
会 場 北海道大学工学部(対面開催のみ)
〒060-8628 北海道札幌市北区北13条西8丁目
交 通 JR 札幌駅から徒歩約20分
詳細は<https://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/campusmap/>

2. 一般研究発表の募集

内 容 別表に示す内容の水環境に関する調査研究成果
応募資格 本会会員に限ります。

登壇資格 登壇者(ポスター発表の代表発表者を含む)は正会員(個人正会員、団体正会員)および学生会員とします。登壇予定者は2024年10月31日(木)までに、本会ホームページ(<https://www.jswe.or.jp/guest/entry.php>)より入会申し込み手続きを済ませてください。会費の入金が確認され、入会が承認されると会員番号が発行されます。仮会員番号のままでは発表申し込みはできません。学生会員は1年ごとの資格ですので、昨年度の会員の方も改めて入会申し込みが必要です。

1名が2つ以上の演題に関して登壇者(ポスター発表の代表発表者含む)となることはできません。

申し込み方法

1) 発表申し込み受付は本会のホームページからのみ

です。ホームページ (<http://www.jswe.or.jp/>) の当該バナーから第59回日本水環境学会年会発表申し込みページにお進みいただき、必要事項を記入の上、送信してください。返信のない場合は、登録できていない可能性があるため、迷惑メールフォルダー等に入っていないことを確認のうえ、下記問い合わせ先にご連絡ください。同じ内容の申し込みを何度も続けて送信されると、システムトラブルの原因となる可能性が大きいのでご注意ください。また、複数のタブまたはウィンドウで発表申し込み画面を開いて操作すると、登録内容が混乱することがあります。発表申し込み画面を複数開かないようにしてください。

2) 申し込み期限は11月20日(水)24:00です。締め切り日近くにはアクセスが集中し、接続が難しくなる場合があります。早めのお申し込みをお願いします。期限厳守とし、以降の申し込みは受け付けません。

3) 発表申し込みに必要な会員番号は、個人正会員は「水環境学会誌」を送付する封筒の住所ラベルの下にある6桁の数字、団体会員は同様のSまたはKで始まる4桁の数字、学生会員は24で始まり最後にSのつく5桁の数字です。

発表申し込みの際、必ず登壇者の会員番号を入力してください。他の番号を入力されると受付できないことがありますのでご注意ください。

4) 研究発表内容の分類は別表にしたがってください。最新の分類にしたがってください。

5) 発表形式の希望(口頭発表、ポスター発表、どちらでも可)を選択してください。なお、会場の都合でご希望に添えない場合もあります。一般ポスター発表は、1日目か2日目のどちらかのみポスター掲載(コアタイム)になります。

6) 発表申し込み・講演要旨・当日発表は同じ言語にしてください。学会当日、日本語で発表される場合には、発表申し込みを日本語で行い、講演要旨も日本語で作成してください。英語で発表する場合には、発表申し

- 込みを英語で行い、講演要旨も英語で作成してください。
- 7) 申し込み時の発表題目、発表者名、発表要旨は、受付後の変更はできません。申し込み内容は各自でお控えの上、講演集原稿の題目、発表者名は申し込み時と同じにしてください。講演集原稿の内容が申し込み時と異なる場合には、発表をお断りすることがありますのでご注意ください。共同発表者の記載漏れ、氏名(フリガナ、漢字)の間違ひについても十分ご注意ください。
- 8) 申し込み内容に間違いがあった場合、使用言語の変更を希望する場合には、発表受付番号と登壇者氏名を明記の上、nenkai@jswe.or.jp に速やかにご連絡ください。
- 9) 登壇者(ポスター発表の代表発表者を含む)の変更は、事前にご連絡の上、共同発表者に限ります。年会学生ポスター発表賞の発表者については、変更のご連絡が遅れると発表自体をお断りすることがあります。

発表形式・発表時間

- 1) 口頭発表はすべてMicrosoft PowerPointでの発表となります。詳しくは、ホームページ<http://www.jswe.or.jp/event/lectures/index.html>に掲載の各種要領をご覧ください。
- 2) 口頭発表は1演題につき15分(発表10分、質疑応答5分)を予定しています。
- 3) ポスター発表(一般ポスター発表、クリタ賞2次審査発表、ライオン賞発表)は、年会開催日目の指定時間内に現地で掲示いただきます。討議時間も予定しています。

年会優秀発表賞(クリタ賞)

博士前期課程(修士課程)の大学院生による研究発表のうち、とくに優れたものに対し年会優秀発表賞を授与します。1次審査通過者によるポスター発表(2次審査)は年会2日目のみに行われます。2次審査は審査用紙ごとに異なる指定された発表を審査する方式です。応募方法、審査方法等の詳細については、次項を参照してください。

年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)

学部生、高等専門学校生(高専生)、短大生によるポスター発表のうち、とくに優れたものに対し年会学生ポスター発表賞を授与します。ポスター発表は年会初日のみに行われます。審査用紙ごとに異なる指定された発表を審査する方式です。応募方法、審査方法等の詳細については、次項を参照してください。

問い合わせ先

(公社)日本水環境学会 第59回年会係
〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7
グリーンプラザ深川常盤201号
Tel: 03-3632-5351 E-mail: nenkai@jswe.or.jp

3. 講演集の原稿について

口頭発表およびポスター発表のいずれも講演集の原稿

(講演要旨原稿)を作成していただきます。原稿書式はホームページの執筆要領 <http://www.jswe.or.jp/event/lectures/index.html> をご参照ください。

作成方法 原稿枚数はA4判1枚(図表も含む)とします。

提出方法 学会ホームページの会員専用ページよりご提出ください。

個人会員(会員専用ページ):

(<https://www.jswe.or.jp/member/index.php>)

団体会員:

(<https://www.jswe.or.jp/member/Ctl-2-17.php>)

提出期限 2025年1月15日(水)アップロード完了を期限とします。以降は原稿を受け付けません。

著作権 講演集に掲載された要旨の著作権は、本会に帰属します。

4. 講演集の電子化について

2015年度(第50回)から、日本水環境学会年会の講演集は電子ファイル(ダウンロード方式)版が標準になりました。講演集の公開日(発行日)は年会開催日の1週間前を予定しています。なお、追加料金での冊子版講演集のご提供も予定しています。

5. 参加申し込み

年会の参加申し込み案内は、本誌12月号およびホームページに掲載予定です。登壇者も必ずお申し込みください。

6. 特別講演のご案内

下記の日程で特別講演を予定しています。

期日 2025年3月18日(火) 15:15~16:15(予定)

参加費 無料(日本水環境学会年会の参加登録がない場合でも参加可能です。)

7. 問い合わせ先

(公社)日本水環境学会 第59回年会係
Tel: 03-3632-5351 E-mail: nenkai@jswe.or.jp

「年会優秀発表賞(クリタ賞)」候補者の募集

第59回日本水環境学会年会において、博士前期課程(修士課程)の大学院生を対象とした年会優秀発表賞受賞候補者を募集します。多数の方々の応募を歓迎します。開催方法によっては審査方法、表彰方法に変更がある可能性があります。

表彰の趣旨 研究意欲の啓発を目指し、博士前期課程(修士課程)の大学院生を対象として、優秀な研究成果発表を表彰します。

表彰対象者 年会において口頭発表を行う博士前期課程(修士課程)在学の学生会員に限ります。対象者以外の申し込みは発表自体をお断りすることがありますのでご注意ください。

応募方法 本会ホームページから年会研究発表を申し込む時に年会優秀発表賞(クリタ賞)への応募を選択し、所定の事項を記入の上、送信してください。

別表 日本水環境学会年会 研究発表分類表

大分類/ General classification カテゴリー/Category	中分類/Middle classification フィールド、メソドロジー/ Field, Methodology	分類テーマ、キーワード例 (主たる研究対象や手法に関する分類 テーマ、キーワードの例)	Examples of Keywords
A 水環境 Water environment	1 河川 river	有機物、栄養塩類、懸濁物質、無機イオン、重金属、内分泌攪乱物質、農薬、微量化学物質、汚濁負荷、ポイント・ノンポイントソース、溶存酸素、界面活性剤、変異原性物質、アオコ、富栄養化、植物プランクトン、動物プランクトン、底質、汽水域、干潟、藻類、赤潮、貧栄養化など	organic compound, nutrient, suspended solid, inorganic ion, heavy metal, endocrine disruptor, pesticide, agrochemical, micropollutant, pollution loading, point/non-point source, dissolved oxygen, surfactant, mutagen, blue-green algae, water bloom, eutrophication, phytoplankton, zooplankton, sediment, brackish waters, tidal flat, algae, red tide, oligotrophication, etc.
	2 湖沼 lake		
	3 海域・沿岸 sea/coast		
	4 湿原 estuary, wetland		
	5 湧水 spring, sour water		
	6 流域・流域管理 watershed/watershed management	水資源、循環利用、地下水、排出負荷測定、排出源推定、排出負荷削減、水質保全など	water resource, recycling of water, groundwater, measurement of pollution loading, estimation of pollutant source, reduction of pollution loading, conservation of water quality, etc.
	7 生物・生態系 living thing/ecosystem	二枚貝、魚類、水生植物、海草、海藻、生物濃縮、食物連鎖、藻場、ベントス、微生物生態、生育場など	bivalve, fish, aquatic plant, macroalgae, bioaccumulation, food chain, sea grass bed, benthos, microbial ecology, habitat, etc.
	8 指標 index	総合指標、理化学的指標、生物指標、健康関連微生物、環境基準など	composite index, physical and chemical index, biological index, health-related microorganisms, environmental quality standards, etc.
	9 モデル model	水質、生態系、流出、浄化予測、汚濁負荷推定、水理など	water quality, ecosystem, runoff, prediction of purification, estimation of pollution loading, hydraulics, etc.
	10 自浄作用 self-purification	自然浄化、浄化機構、富栄養化、水理、水文、直接浄化など	natural attenuation, remediation mechanism, eutrophication, hydraulics, hydrology, direct purification, etc.
	11 気候変動 climate change	地球温暖化、局地的豪雨、浸水/災害対策、渇水、調査研究など	global warming, local heavy rain, flood/disaster countermeasure, drought, survey research, etc.
	12 生態系サービス ecosystem services	生態系サービス、生態系機能、自然資本、グリーンインフラなど	ecosystem services, ecosystem function, natural capital, green infrastructure, etc.
	13 その他 others		
B 土壌・地下水 Soil/Groundwater	1 土壌・地下水汚染 soil and groundwater contamination	土壌、地下水、硝酸、揮発性有機化合物、重金属、ヒ素、水理、モデル、バイオレメディエーション、微生物、活性炭処理など	soil, groundwater, nitrate, volatile organic compounds heavy metal, arsenic, hydraulics, model, bioremediation, microbes, activated carbon treatment, etc.
	2 浄化技術 remediation technology		
	3 その他 others		
C 上水・用水・再生水 Drinking water/ Utilize water	1 水源管理 water source management	水源、有機物、海水淡水化、重金属、微量化学物質、農薬、濁度、臭気物質、凝集沈殿、ろ過、吸着、オゾン、紫外線、膜、消毒、健康関連微生物、消毒副生成物、給配水、再増殖、気候変動、リスク評価、リスク管理、水質事故など	water source, organic matter, seawater desalination, heavy metal, micropollutant, pesticide, agrochemical, turbidity, odorous compound, coagulating sedimentation, filtration, adsorption, ozone, UV, membrane, disinfection, health-related microorganisms, disinfection byproduct, water distribution, regrowth, climate change, risk assessment, risk management, accidental water pollution, etc.
	2 浄水処理・管理 water treatment/management		
	3 水質評価 water quality evaluation		
	4 再生水 reclaimed water		
	5 浄水場排水・スラッジ処理 waterworks wastewater/sludge treatment		
	6 その他 others		
D 排水処理 処理方式 Wastewater treatment - treatment process	1 活性汚泥法 activated sludge process	標準活性汚泥法、オキシデーションディッチ法、膜分離活性汚泥法、生物ろ過法、生物活性炭、固定化担体、グラニュール法、UASB法、メタン発酵、嫌気性消化、凝集沈殿、ろ過、吸着、浮上分離、膜、オゾン、塩素、紫外線、電解処理、促進酸化処理、消毒副生成物、健康関連微生物、	conventional activated sludge process, oxidation ditch process, membrane bio-reactor (MBR), biofiltration process, biological activated carbon, immobilized carrier, granular sludge, UASB, methane fermentation, anaerobic digestion, coagulation sedimentation, filtration, adsorption, air flotation, membrane separation, ozone, chlorine, UV, electrolytic treatment, advanced oxidation processes,
	2 生物膜法等 biofilm process		
	3 嫌気性処理 anaerobic treatment		

D	排水処理 処理方式 Wastewater treatment - treatment process	4	物理処理 physical treatment	生物学的窒素処理（硝化、脱窒、ア ナモックス等）、直接浄化、人工湿地 など	disinfection byproduct, health-related microorganisms, biological nitrogen removal (nitrification, denitrification, ANAMMOX, etc.), direct purification, constructed wetland, etc.
		5	化学処理 chemical treatment		
		6	消毒 disinfection		
		7	生物学的窒素処理 biological nitrogen removal		
		8	人工湿地 constructed wetland		
		9	その他 others		
E	排水処理 除去・回収対象物質 Wastewater treatment - materials for removal/recovery	1	微量化学物質／難分解性有機物 trace chemicals/persistent organic compound	内分泌攪乱物質、医薬品、難分解性 有機物、その他微量化学物質、生物 学的窒素除去、生物学的リン除去、 晶析法、ストリップング法、重金属、 希少金属など	endocrine disruptor, pharmaceutical and personal care products (PPCPs), trace chemicals, biological nitrogen removal, biological phosphorus removal, crystallization method, stripping, heavy metal, rare metal, etc.
		2	窒素・リン nitrogen/phosphorus		
		3	金属類 metals		
		4	塩分除去 desalting		
		5	高濃度有機物 highly-concentrated organics		
		6	その他 others		
F	排水処理 排水の種類 Wastewater treatment - wastewater type	1	下水／生活雑排水／し尿 sewage/domestic wastewater/ night soil	下水道、浄化槽、農集排、コミュニ ティプラント、コンポストトイレ、 鉄鋼業、電子産業、食品産業、醸造 業、畜産業など	sewage, Johkasou, rural community sewerage, community wastewater treatment plant, composting toilet, steel industry wastewater, electronic industry wastewater, food industrial wastewater, brewing industry wastewater, agricultural wastewater, etc.
		2	工場排水 industrial wastewater		
		3	食品産業排水 food industrial wastewater/ agricultural wastewater		
		4	その他 others		
G	排水処理 除去機構解析 Wastewater treatment - analysis of treatment mechanism	1	生物処理モデル biological treatment model	活性汚泥モデル、嫌気性モデル、ろ 過モデル、堆積モデル、ポピュレー ションダイナミクス、PCR法、FISH 法など	activated sludge model, anaerobic reaction model, filtration model, sedimentation model, population dynamics, polymerase chain reaction (PCR), fluorescence in situ hybridization (FISH), etc.
		2	物理化学的処理モデル physical-chemical treatment model		
		3	遺伝子解析 genetic analysis		
		4	その他 others		
H	排水処理 排水回収 低炭素対応 その他 Wastewater treatment -wastewater recovery, Low carbon, other	1	排水回収 wastewater recovery,	排水回収、再生利用、造水処理など	wastewater recovery, water reclamation, zero liquid discharge, etc.
		2	省エネ・創エネ energy conservation/energy production	省エネ・創エネ、温暖化防止、メタ ン発酵、水素発酵、熱回収、微生物 燃料電池など	energy conservation, energy production, prevention of global warming, methane fermentation, hydrogen fermentation, thermal recycle, microbial fuel cell, etc.
		3	地球温暖化 global warming		
		4	微細藻類 microalgae		
		5	その他 others		
I	汚泥・廃棄物処理、 バイオマス Sludge/Waste treatment	1	汚泥処理 sludge treatment	嫌気性消化、メタン発酵、下水汚泥、 資源化処理、減容化処理、コンポ スト、浸出水、畜産廃棄物、評価指標、 バイオマスエネルギーなど	anaerobic digestion, methane fermentation, sewage sludge, recycling, volume reduction, composting, leachate, livestock waste, evaluation index, biomass energy, etc.
		2	廃棄物処理 waste treatment		
		3	バイオマスエネルギー変換、バ イオマス資源化 biomass energy conversion, biomass resource recovery		

		4 その他 others		
J	毒性・健康影響 Toxicity/Health effects	1 毒性評価 toxicity assessment 2 生物影響 biological effects 3 健康関連微生物 health-related microorganisms 4 その他 others	下水, 河川, 地下水, 湖沼, 海域, 浸出水, 健康関連微生物, 細胞毒性, 変異原性, 水生生物, 生物濃縮, 生態系影響, リスク評価, 指標生物, DNA マイクロアレイ, 内分泌攪乱作用など	sewage, river, groundwater, lake, sea, leachate, health-related microorganisms, cytotoxicity, mutagenicity, aquatic organism, bioaccumulation, ecosystem impact, risk assessment, index organism, DNA microarray, endocrine-disrupting effect, etc.
K	試験・分析法 Test/Analysis	1 化学分析 chemical analysis 2 生物学的分析 biological analysis 3 バイオアッセイ bioassay 4 その他 others	機器分析, GC/MS 法, LC/MS 法, 簡易分析, センサー, 内分泌攪乱物質, 金属元素, 微量有機化学物質, 健康関連微生物, PCR 法, ハイブリダイゼーション法, バイオセンサー, 培養細胞, 水生生物など	instrumental analysis, gas chromatography/mass spectroscopy analysis, liquid chromatography/mass spectroscopy analysis, simple analysis method, sensor, endocrine disrupting chemicals, nonmetal element, organic micropollutant, health-related microorganisms, polymerase chain reaction, hybridization, biosensor, cultured cell, aquatic organism, etc.
L	総合評価・管理 Comprehensive evaluation/Management	1 技術/システム評価 technology/system evaluation 2 生態リスク評価/管理 ecological risk assessment/management 3 環境動態 environmental fate 4 維持管理 maintenance 5 財政評価 monetary evaluation 6 その他 others	省資源・省エネルギー, コスト, LCA, 二酸化炭素発生対策, 気候変動, 温暖化防止, リスク管理, アセットマネジメントなど	natural resources saving, energy conservation, cost evaluation, LCA, CO ₂ emission countermeasure, climate change, prevention of global warming, risk management, asset management, etc.
M	環境教育・国際協力 Environmental education/International cooperation	1 環境教育 environmental education 2 国際協力・海外調査 international cooperation/overseas research 3 その他 others	環境保全活動, 環境学習, 地域参加, 環境計画, 地球環境, 文化交流, 技術普及など	environment conservation activity, environmental learning, community involvement, environment plan, global environment, cultural exchange, technology propagation, etc.
N	水環境文化 Water environment culture	1 景観, 都市設計 landscape/urban planning 2 地域, 暮らし, 歴史, 伝統 region/life/history/tradition 3 その他 others	景観, 都市設計, デザイン, 暮らしと水, 親水, 行政, ホタル, 文化交流など	landscape, urban planning, design, life and water, water park, government administration, firefly, cultural exchange, etc.
O	災害とその対応 Disaster and Restoration	1 放射性物質 radioactive substance 2 震災 impact of earthquake 3 水害・洪水・津波 Floods and Tsunami 4 その他 others	放射性物質, 挙動, 除去, 分析など 被害, 復旧, 自然再生など 防災, 水害など	radioactive substance, behavior, removal, analysis, etc. damage, restoration, regeneration of nature, etc. Disaster Prevention, flood damage, etc.
P	特別企画 Special Project	1 開催支部企画 project by the host branch 2 その他 others		
Q	A~P 以外 Others	1 その他 others		

注：2023年度に大分類 O の内容が変更されています。選択時にはご注意ください。
複数の希望セッションに希望順位をつけて選択してください。

審査方法

- 1次審査 講演要旨原稿の内容に基づき審査します。1次審査通過者には、2次審査の詳細を通知します。
- 2次審査 年会2日目にポスター発表を行い、投票に基づいて受賞者を決定します。

結果通知および表彰等

- 1) 1次審査結果は発表申し込み時に登録したE-mailアドレス宛にE-mailにより応募者全員に通知します。
- 2) 2次審査結果(受賞者)は、年会2日目午後に行われる表彰式において発表します。受賞者には、表彰式において表彰状のほか副賞を授与します。受賞者以外で1次審査を通過しポスター発表を行った方には、表彰式において参加賞を授与します。原則として表彰式に出席していない場合は受賞できません(修了式、体調不良、法事等を事前に連絡した場合を除く)。
- 3) 1次審査を通過しポスター発表を行った方全員を懇親会へ招待します。

スケジュール概要(締め切り以降は受け付けません)

- 1) 2024年11月20日 応募締め切り
- 2) 2025年1月15日 講演要旨原稿提出締め切り
- 3) 2025年2月上旬 1次審査結果の通知
- 4) 年会 2日目 ポスター発表による2次審査
- 5) 年会 表彰式 2次審査結果の発表、受賞者の表彰と副賞の授与、参加賞の授与

付記 年会優秀発表賞(クリタ賞)受賞の博士前期課程(修士課程)修了者は、国際会議発表助成(クリタ賞国際会議発表助成、毎年5月に募集予定)の助成候補対象(40歳未満で応募年度の個人正会員または学生会員に限る)となります。

問い合わせ先

(公社)日本水環境学会 年会優秀発表賞(クリタ賞)係
Tel : 03-3632-5351 E-mail : nenkai@jswe.or.jp

**「年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)」
候補者の募集**

第59回日本水環境学会年会において、**学部生、高等専門学校生(高専生)、短大生**を対象とした年会学生ポスター発表賞の受賞候補者を募集します。多数の方々の応募を歓迎します。開催方法によっては審査方法、表彰方法に変更がある可能性があります。

表彰の趣旨 研究意欲の啓発を目指し、**学部生、高専生、短大生**を対象として優秀なポスター発表を表彰します。

表彰対象者 年会においてポスター発表を行う**大学学部、高等専門学校、短期大学**在学の学生会員に限ります。対象者以外の申し込みは発表自体をお断りすることがありますのでご注意ください

ください。

応募方法 本会ホームページから年会研究発表を申し込む時に年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)への応募を選択し、所定の事項を記入の上、送信してください。

審査方法 年会初日にポスター発表を行い、投票に基づいて受賞者を決定します。

結果通知および表彰等

- 1) 審査結果(受賞者)は、年会2日目昼に受付に掲示して発表します。受賞者には、表彰式において表彰状のほか副賞を授与します。原則として表彰式に出席していない場合は受賞できません(卒業式、体調不良、法事等を事前に連絡した場合を除く)。
- 2) 受賞者を懇親会へ招待します。

スケジュール概要(締め切り以降は受け付けません)

- 1) 2024年11月20日 応募締め切り
- 2) 2025年1月15日 講演要旨原稿提出締め切り
- 3) 年会 初日 ポスター発表による審査
- 4) 年会 2日目昼 審査結果の発表
- 5) 年会 表彰式 受賞者の表彰と副賞の授与

問い合わせ先

(公社)日本水環境学会
年会学生ポスター発表賞(ライオン賞)係
Tel : 03-3632-5351 E-mail : nenkai@jswe.or.jp

**海外在住外国人会員の年会発表に対する
費用助成制度「国際招聘賞」
JSWE-IDEA Water Environment International
Exchange Award
第59回日本水環境学会年会の
助成対象者の募集**

本会では、水環境分野の国際交流・国際協力の促進を目的として、本会年会で研究発表を行う海外に在住する外国籍の個人会員・国際連携会員に対して、来日費用等の助成を行っています。

2025年3月に北海道大学工学部(札幌市)で開催される第59回年会での研究発表予定者から、助成の対象者を下記のとおり募集します。奮ってご応募ください。

この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐(ご寄付)により実施するものです。

〈募集の手引き〉

応募資格 海外に在住する外国籍の個人会員および国際連携会員 (<http://www.jswe.or.jp/joining/index.html>参照)で、第59回日本水環境学会年会において研究発表を予定する者
応募希望者は2024年10月末日までに日本水環境学会への入会手続きを行うこと

助成内容 年会・懇親会への招待、および年会参加のための渡航費・滞在費の一部助成(一律10万円)

を予定)
助成対象 若干名
応募方法 年会の研究発表申し込み手続(2024年11月20日(水)締め切り、厳守)を行った後に、下記の提出書類を学会事務局まで提出すること

提出書類

1. 応募者の略歴、発表題目、受付番号、要旨(所定書式あり、下記URL参照)
2. 主な発表論文の別刷3編(PDF可)

所定書式 下記のいずれかからダウンロード

<https://www.jswe.or.jp/awards/idea/index.html>

<https://www.jswe.or.jp/eng/awards/idea/index.html>

提出期限 2024年11月21日(木) 必着

提出先

(公社)日本水環境学会 水環境国際招聘賞 選考委員会
郵送の場合: 〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7
グリーンプラザ深川常盤201号

E-mailの場合: kokusai@jswe.or.jp (@は半角)

合否通知 選考結果については、2024年12月末日までに応募者に通知する。

令和6年度日本水環境学会関東支部見学会のご案内

四大公害病の一つ新潟水俣病について理解を深めるとともに、福島潟の豊かな自然に触れた後、水の恵みを生かした産業である酒造を見学します。

新潟県立環境と人間のふれあい館(新潟水俣病資料館)は、新潟水俣病と水環境をテーマとした施設で、その被害や歴史などを学ぶことで、公害防止や環境保全について考え、行動してもらうことを目的にしています。

福島潟公園自然学習園は、福島潟の自然環境や動植物とのふれあいや観察を通じて、自然保護についての理解を深めることができます。

今代司酒造は、1767年創業の歴史ある酒造会社です。今代司(いまよつかさ)という名前は、「今の時代を司る」「今の時代に合った酒の楽しみ方を創造する」という意味、解釈だそうです。

主催 日本水環境学会関東支部

期日 2024年10月28日(月) 11:50~17:30頃

場所 ①新潟県立環境と人間のふれあい館(新潟水俣病資料館)
②福島潟公園自然学習園
③今代司酒造株式会社

集合 11:50にJR新潟駅東口改札前にお集まりください(解散はJR長岡駅を予定)

プログラム

JR新潟駅(集合)→12:00新潟駅南口出発→(バス移動30分)→12:30新潟県立環境と人間のふれあい館着、見学・ガイドによる解説(80分程度を予定)→見

学しながら移動(徒歩10分)→14:00福島潟公園自然学習園着、見学(60分程度を予定)→(バス移動40分)→15:40今代司酒造着、見学(50分程度を予定)→(バス移動60分)→17:30JR長岡駅着(解散)

※適宜トイレ休憩

※見学場所はバス移動となります。時刻、時間は目安で、交通事情等により前後する場合がございます。※昼食の用意はございません。各自でお済ませになってお越しください。

定員 20名(先着順)

参加費 2,000円(会員、非会員とも)

申込締切 2024年9月27日(金)

申込方法 氏名、所属団体名、住所、電話番号、メールアドレスを記載し下記宛てお申し込みください。

申し込み・問い合わせ先

日本水環境学会関東支部企画部会見学会担当

E-mail: jswe.kanto.kikaku@gmail.com

※詳細が決まり次第、関東支部のホームページ(<https://jswe-kanto.blogspot.com/>)でお知らせします。

※お送りいただきました情報は、本見学会の連絡業務以外には使用しません。見学会終了後、責任を持って消去いたします。

公開シンポジウム:「水辺のすこやかさ指標」の今後の展開への期待

主催 日本水環境学会東北支部水辺のすこやかさ指標研究会・関東支部・九州沖縄支部

期日 2024年11月16日(土) 13:00~17:00

場所 中央大学茗荷谷キャンパス 2F中教室
教室番号2E08

開催形式 対面とオンラインのハイブリッド形式
参加お申し込みの方に後ほどオンライン(Zoom)の接続先をメールでお知らせします。

プログラム

【開会挨拶】 日本水環境学会関東支部長 西川可穂子

【基調講演】 13:50~15:00

- 『水辺のすこやかさ指標に関する環境省の取組』(仮題)
環境省水・大気環境局 環境管理課 岡内 啓悟
- 『流域水環境管理における水辺のすこやかさ指標の活用について』

中央大学 古米 弘明

【第1部】 13:10~13:50 「これまでの取り組みの紹介」

- 『九州地域での事例』
西日本工業大学 高見 徹
- 『干潟での事例~干潟版水環境健全性指標(WESI-TF)の開発と適用』
千葉工業大学 村上 和仁

- 『東京家政大学の事例 ~本指標を利用した河川教に対する学習効果の検討』

東京家政大学 井上 宮雄

【第2部】15:00～16:00 「さらなる普及へ向けて」

- 『市民活動における水辺のすこやかさ指標の新しい活用事例』

東北工業大学 矢野 篤男

- 『すこやかさ指標の調査から水循環を探る』

(株)日水コン 清水 康生

- 『健やかさ指標に新たに触れる市民の反応とその普及』

中央大学 西川可穂子

【第3部】総合討論 16:10～16:50

司会 東洋大学 大塚 佳臣

【閉会挨拶】日本水環境学会東北支部 矢野 篤男

参加 どなたでも参加は自由です。

参加費 無料

交流会 シンポジウム終了後に茗荷谷駅付近で開催を予定しています。

問い合わせ先・参加申し込み先

東北工業大学都市マネジメント学科 矢野 篤男

E-mail : yano-t@tohtech.ac.jp Tel : 022-305-3961

なお詳細につきましては日本水環境学会東北支部 HP をご覧ください。(http://jswetohoku.web.fc2.com/)

他学会関連行事

第24回 環境技術学会年次大会および講演会案内

2024年度環境技術学会は大阪公立大学杉本キャンパスで実施します。参加は非会員でも可能で、日本水環境学会および廃棄物資源循環学会の会員方は会員料金です。

主催 環境技術学会

共催 日本水環境学会関西支部、廃棄物資源循環学会
大阪公立大学

土木学会認定 CPD プログラム申請予定

期日 2024年9月25日(水) 9:30～(受付9:00～)

場所 大阪公立大学杉本キャンパス全学共通教育棟

プログラム

- ・発表：口頭発表56件、紙上発表4件
- ・セッション：4会場で並行開催。下水・汚泥処理／廃棄物処理／環境汚染化学物、など15セッション。
- ・講演会：天尾 豊（大阪公立大学）「二酸化炭素を資源化する人工光合成技術の現状と展望」
- ・表彰式・閉会式・交流会（学術情報総合センター）

聴講申込 下記 URL で事前申込か当日会場にて受付

参加費 一般会員 6,000 円、学生会員 4,000 円、非会員 10,000 円で、交流会は学生会員 4,000 円、一般 7,000 円

ただし、上記は事前申込価格で当日は各 +1,000 円

詳細 URL http://jriet.net/blog_taikaiinkai/問い合わせ先 taikai_info@jriet.net (大会委員会)

第30回 膜分離技術セミナー

主催 一般社団法人膜分離技術振興協会

期日 2024年10月29日(火) 10:00～16:30

場所 レンタルスペース パズル浅草橋 3階 B会議室
東京都台東区浅草橋5-2-3 鈴和ビル および web
開催 (Zoom 使用)

プログラム 膜および膜分離技術の基礎と応用を初心者や現場技術者の方々などを対象に解りやすく解説するセミナーです。

申し込み方法 「申し込みフォーム」に必要な事項をご記入いただきお申し込みください。

申し込みフォーム URL :

<https://forms.gle/aMNxbGN2cqYLVJX6>

(会場参加 または Web 参加を選択ください)

参加申込締切 2024年10月15日(火)

参加費 膜分離技術振興協会会員企業 10,000 円、非会員企業 12,000 円、地方自治体および学生 5,000 円

申込等詳細 URL <http://www.amst.gr.jp/>

問い合わせ先

一般社団法人 膜分離技術振興協会

〒103-0004

東京都中央区東日本橋 3-12-11 東日本橋 TS ビル

E-mail : info@amst.gr.jp2024年度 産総研エネルギー・環境シンポジウム
シリーズ 水環境浄化・計測のための
環境バイオ技術の最前線

主催 国立研究開発法人 産業技術総合研究所

協賛 産業技術連携推進会議 環境・エネルギー部会、
環境・エネルギー分科会、環境管理技術研究会

後援 日本水環境学会ほか

期日 2024年11月22日(金) 13:00～17:15

場所 産総研臨海副都心センター別館 11階会議室

プログラム

特別講演「環境技術としてのバイオテクノロジー」
大阪大学大学院工学研究科 環境エネルギー工学専攻
教授 池 道彦ほか、詳細は本シンポジウムのウェブサイト
をご参照ください

申し込み方法 下記 URL から Forms にてお申し込み

参加申込締切 2024年11月15日(金) 17:00

参加費 無料

詳細 URL <https://unit.aist.go.jp/env-mri/kouenkai/2024/index.html>

問い合わせ先

産業技術総合研究所 環境創生研究部門 研究発表会
事務局E-mail : M-EMRIsympo-ml@aist.go.jp

FY2024 JDA FORUM

主催 NPO 法人 JDA 協会
協賛 (一社) 膜分離技術振興協会
期日 2024 年 11 月 26 日 (火) 13:00~17:30
場所 お茶の水ユニオンビル 4F ワイム貸会議室
お茶の水 B 会議室 (東京都千代田区神田駿河台 2-1-20)
プログラム フォーラムテーマ「世界のカーボンニュートラルの動きと水処理市場・水処理技術の最先端」, 講演「世界の気候変動対策と水管理・水運用」沖 大幹氏 (東京大学 総長特別参与), 「海水淡水化の現状と新たな挑戦」栗原 優氏 (JDA 協会常任顧問), 「ナノろ過膜を用いた分離プロセス～水処理から資源回収まで～」赤松 憲樹氏 (工学院大学 教授), 以下詳細 URL をご参照ください
申し込み方法 JDA 協会 HP より申し込み
参加申込締切 2024 年 11 月 19 日 (火)
参加費 会員・後援団体会員 10,000 円, 非会員 20,000 円, 学生 1,000 円
詳細 URL <https://www.japan-desalination.jp/news/>
問い合わせ先 NPO 法人 JDA 協会
〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-5
相鉄 KS ビル 6 階・9 階
Tel : 045-287-0706 (リモートワークにより不在)
Email : office.a1@japan-desalination.jp

お知らせ

2024 年度「水環境文化賞」の推薦募集について

水環境文化賞は水環境の保全・創造に関する社会文化活動が顕著である団体あるいは個人に贈られます。自薦、他薦は問いません。詳細は以下、学会事務局にお問い合わせください。受賞者は 2025 年 3 月の日本水環境学会第 59 回年会にて表彰予定です。たくさんのご応募をお待ちしています。

被推薦資格 水環境の保全・創造に関する社会文化活動に積極的に取り組んでいる団体あるいは個人。本会の会員／非会員は問いません。

応募方法 学会ホームページより応募用紙をダウンロードし、以下 1)～6) の必要事項を記入の上、7) 活動を示す資料とあわせて以下の提出先に送付ください。以下の E-mail への電子ファイルでの提出をお願いします。電子ファイルとすることが困難な場合はご相談ください。なお、評価ポイントは学会ホームページでご覧になれます。

- 1) 被推薦団体名或いは被推薦者氏名, 連絡先住所, 電話番号, E-mail アドレス
- 2) 活動概要 (300 字以内)
- 3) 対象とする社会文化活動
- 4) 広報活動など (200 字以内)

- 5) 推薦者の推薦理由 (500 字程度)
 - 6) 推薦者の氏名, 所属, 住所, 電話番号, E-mail アドレス (自薦も可)
 - 7) 活動を示す資料 (複数でも可。ただし、電子ファイル合計 40 ページ以内)
- 提出期限** 2024 年 9 月 19 日 (木) (必着) 今年度より、締め切りを 2 週間ほど早くしているのをご注意ください。
- 提出・問い合わせ先 (学会事務局)**
(公社) 日本水環境学会「水環境文化賞」係
〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7
グリーンプラザ深川常盤 201 号
Tel : 03-3632-5351 Fax : 03-3632-5352
E-mail : award@jswe.or.jp

2024 年度「水環境文化賞児童・生徒の部 (みじん子賞)」の推薦募集について

水環境文化賞児童・生徒の部 (みじん子賞) は地域の水環境保全・創出に貢献した小・中・高校生のグループに贈られます。例年、年会開催予定地の地区から選出され、本年度は北海道支部エリア (北海道) が対象となります。自薦、他薦は問いません。詳細は以下、学会事務局にお問い合わせください。受賞者は 2025 年 3 月の日本水環境学会第 59 回年会にて表彰予定です。たくさんのご応募をお待ちしています。

被推薦資格 地域の水環境保全・創出に努力している小学生、中学生もしくは高校生のグループ等。本会の会員／非会員は問いません。

応募方法 学会ホームページより応募用紙をダウンロードし、以下 1)～6) の必要事項を記入の上、7) 活動を示す資料とあわせて以下の提出先に送付ください。以下の E-mail への電子ファイルでの提出をお願いします。電子ファイルとすることが困難な場合はご相談ください。なお、評価ポイントは学会ホームページでご覧になれます。

- 1) 被推薦団体名或いは被推薦者氏名, 連絡先住所, 電話番号, E-mail アドレス
- 2) 活動概要 (300 字以内)
- 3) 対象とする社会文化活動
- 4) 広報活動など (200 字以内)
- 5) 推薦者の推薦理由 (500 字程度)
- 6) 推薦者の氏名, 所属, 住所, 電話番号, E-mail アドレス (自薦も可)
- 7) 活動を示す資料 (複数でも可。ただし、電子ファイル合計 40 ページ以内)

提出期限 2024 年 9 月 19 日 (木) (必着) 今年度より、締め切りを 2 週間ほど早くしているのをご注意ください。

提出・問い合わせ先 (学会事務局)
(公社) 日本水環境学会「水環境文化賞」係
〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7
グリーンプラザ深川常盤 201 号

Tel : 03-3632-5351 Fax : 03-3632-5352
E-mail : arawd@jswe.or.jp

2024年度「名誉会員」の推薦について

名誉会員は、水環境関連分野の学術の発展に功績があった、あるいは本会に対しとくに功労があった満70歳以上の会員を、総会の承認を得て推戴します。本会名誉会員推薦内規により、会員は名誉会員候補者を推薦できることになっております。

なお、海外在住の外国人会員も名誉会員の対象となっております。詳細につきましては、学会事務局にお問い合わせください。

2024年度「学会賞」、「学術賞」 の受賞候補者の推薦について（募集）

これらの賞の選考については、それぞれの選考委員会に対し、会員による推薦制度を設けております。下記のとおり会員各位からのご推薦を期待しています。なお、学術賞に関しては、年齢制限はありません。詳細につきましては、学会事務局までお問い合わせください。

〈学会賞〉

本会の発展に貢献あるいは水環境に関わる分野において、とくに優れた功績を認められた会員に贈られます。

1. 被推薦資格：本会の会員にして、受賞年度（2024年度）において満60歳をこえる者
2. 提出書類：①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴等、②推薦理由書（2,000字以内）、③参考資料等、④推薦者の氏名、住所、所属

〈学術賞〉

水環境に関わる一連の論文、著作、学術的研究成果がとくに優れた会員に贈られます。

1. 被推薦資格：本会の会員であること。年齢制限はありません。
2. 提出書類：①被推薦者の氏名、住所、所属、略歴等、②対象とする研究成果、③推薦理由書（2,000字以内）、④参考資料等（論文、著作の一覧等）、⑤推薦者の氏名、住所、所属

※それぞれの賞についての提出書類の書式は自由です。

なお、参考資料の論文、著作の一覧は査読つき論文、学会プロシーディングス、解説、著作などを明確に整理し、推薦理由書等の資料は電子媒体での提出をお願いします。

提出期限 2024年11月29日（金）

提出先 （公社）日本水環境学会「学会賞」、「学術賞」係
E-mail : award@jswe.or.jp

2024年度「技術賞」および「技術奨励賞」 候補者の推薦について（募集）

本会では、以下に示したような技術賞および技術奨励

賞を設け、対象となる個人または団体を毎年表彰しております。受賞者（または団体）は、本学会誌ならびに学会HPに受賞者（または団体）名とその技術の受賞理由等についての記事が掲載され、その功績が広く周知されます。

つきましては、下記の要領にて、会員からの技術賞もしくは技術奨励賞候補者の推薦をお願い申し上げます。「推薦」は自薦他薦を問いません。選考委員会にて、推薦内容を十分審議の上、技術賞、技術奨励賞いずれかの相応性も含めて選考されます。

・技術賞

水環境に関する調査研究または水環境技術に関して顕著な功績をなした個人または団体に授与されます。選考にあたっては、技術（調査内容、方法）の新規性や実績（たとえば処理技術の場合には実機実績等）等を加味して総合的に判断されます。

・技術奨励賞

水環境に関する調査研究または水環境技術が独創的であり将来を期待される個人または団体に授与されます。選考にあたっては、技術や調査研究の新規性のほか、学会発表や論文等で発表した成果や調査事例、パイロット試験結果等を加味して総合的に判断されます。

被推薦者の資格

本会正会員または団体正会員およびこれに所属する個人
提出書類

「技術賞・技術奨励賞提出書類様式」を学会HPよりダウンロードしてお使いください。また、各書類はpdfファイル形式で提出先メールアドレスへお送りください。

<https://www.jswe.or.jp/awards/gijutsu/index.html>

- (1) 被推薦者の氏名、住所、所属（団体の場合は名称および代表者名）、電話番号、E-mail、略歴等（連名の場合、被推薦者の役割分担を明記）
- (2) 対象とする技術または調査研究名（40字以内）
- (3) 推薦理由（①技術内容（調査内容）、②開発背景、③従来技術および優位性、④技術賞では当該技術の実用実績、技術奨励賞では当該技術の実用化への取り組みまたは当該調査研究に関して期待される社会貢献について記載：2,000字以内）
- (4) 推薦者（氏名、住所、所属、電話番号、E-mail等）
- (5) 参考資料等（文献、特許、新聞記事等）

提出期限 2024年11月18日（月）

提出先 （公社）日本水環境学会「技術賞および技術奨励賞」係 E-mail : award@jswe.or.jp

なお、過去の技術賞および技術奨励賞受賞テーマ一覧および歴代受賞者を下記URLの学会HPに掲載しています。
<https://www.jswe.or.jp/awards/gijutsu/prizewinner.html>

「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」の募集

本会では、水環境分野での国際交流・国際協力の促進

を目的として、本会の活動趣旨に沿っており、かつ優れた国際的な活動として選定されるものを「水環境国際活動賞（いであ活動賞）」として顕彰し、その費用の一部または全額を助成いたします。助成の対象者を下記のとおり募集いたします。奮ってご応募願います。

なお、この助成制度は「いであ株式会社」殿のご出捐（ご寄付）により実施するものです。

〈募集の手引き〉

応募資格 本会の個人正会員

助成対象 本会の活動趣旨に沿った優秀な国際的な活動に対して助成を行う。活動主体は個人、チーム、研究委員会などの団体のいずれでも構わない。活動例としては、1) 海外での調査・研究活動、2) 海外または国内での、海外の話題を対象としたシンポジウムや出版等の研究情報の普及・交流活動、3) 海外または国内での、国際的なシンポジウム等の研究集会（オンライン含む）の開催、4) その他、本会・学会員の国際化の進展に資すると考えられる活動等。

助成内容（具体的な使途の例）

- ・調査・研究に係る消耗品等の支出
- ・研究集会等の開催費用（別予算との併用可）
- ・国際共同研究の成果をまとめた書籍等の出版にかかる費用（編集作業等の外注費含む、ただし営利目的の出版物は不可）
- ・物品の購入、ストレージ、輸送等にかかる費用
- ・旅費（別予算による出張等に付随して発生する場合を含む）

いずれについても、国際的な研究活動であり、本賞による支援の必要が明らかであること。

助成金額 総額 30 万円

助成期間 受賞から 2 年間以内

助成対象件数 原則として 1 件

応募方法 助成を希望する本人が、以下の提出書類を作成し、期限までに郵送（簡易書留）または E-mail（kokusai@jswe.or.jp）で提出してください。応募受付の連絡が 3 日以内でない場合は学会事務局にご連絡願います。

提出書類（書式は自由）

- ・応募者の氏名、会員番号、連絡先住所、TEL、FAX、E-mail、所属、略歴、研究業績（主な発表論文リストや国際的な活動実績）（A4、1 ページ程度）
- ・活動の準備状況（あれば）や活動内容（目的、計画または成果、国際的な研究活動であることの説明を含め A4 で 2 ページ程度）
- ・必要経費の概算書（活動全体にかかる経費（自己資金を含む）と本会からの助成希望金額を明記）

提出期限 2025 年 1 月 10 日（金）必着

提出先 E-mail（kokusai@jswe.or.jp）での提出（件名に「水環境国際活動賞」と記載）

郵送の場合は、封筒表に「水環境国際活動賞」と朱書き

のうえ、簡易書留で下記に送付

〒135-0006 東京都江東区常盤 2-9-7

グリーンプラザ深川常盤 201 号

（公社）日本水環境学会 水環境国際賞選考委員会

合否通知 選考結果については、2025 年 2 月までに応募者に通知いたします。

その他 受賞者は 3 月の年会会場で表彰します。受賞者には、活動終了後、活動に関する報告書を作成し、学会へ提出していただきます。

麻布大学 生命・環境科学部環境科学科 准教授または講師の募集（環境衛生学分野）

募集人員 准教授または講師、1 名

所属 生命・環境科学部環境科学科

専門分野 環境衛生学・環境リスク学

応募資格

- ①大学教員としての適性を有する者
 - ②博士の学位を有し、有機化学を軸とした環境分析ならびに環境リスク評価に関する教育・研究業績を有する者
 - ③本学の教育理念を理解し、他の教職員と協調して各種業務を積極的に推進できる者
- それ以下詳細 URL をご参照ください

採用予定日 2025 年 4 月 1 日（火）

応募方法 応募書類を郵送

応募期限 2024 年 10 月 10 日（木）

詳細 URL https://www.azabu-u.ac.jp/recruit/2024/0806_44192.html

問い合わせ先

麻布大学事務局 総務部 人事課

〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-17-71

Tel：042-754-7111（内 2849）

E-mail：jinji@azabu-u.ac.jp

北海道大学 工学部環境循環システム部門 教授の公募

募集人員 教授、1 名

所属 環境循環システム部門 地圏循環工学分野

専門分野 資源・環境分野において地下圏での物質移動が関わる物理・化学的現象を対象とした研究分野

応募資格 着任時において博士の学位または Ph.D. を有する方

採用予定日 2025 年 4 月 1 日（火）

応募方法 郵送もしくは JREC-IN Portal からの Web 応募

応募期限 2024 年 10 月 31 日（木）

詳細 URL <https://www.eng.hokudai.ac.jp/commonfile/files/graduate/research/recruit/pa2024-09.pdf>

問い合わせ先

北海道大学大学院工学研究院環境循環システム部門

部門長 大竹 翼
〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目
Tel: 011-706-6323 E-mail: totake@eng.hokudai.ac.jp

日本水大賞委員会「第27回日本水大賞の募集」

受付期間 2024年7月7日(日)～2024年10月31日(木)
表彰対象 水循環系の健全化を目指し、環境分野・防災分野等の水に関わる活動すべて。
表彰内容 応募いただいた活動の中から優れたものに対して大賞・大臣賞等を授与し広く公表します。
表彰件数 大賞, 大臣賞, 他 下記 URL 参照
決定期間 2025年3月下旬～4月上旬
応募方法 下記 URL 参照
詳細 URL <http://www.japanriver.or.jp/taisyo/>
問い合わせ先

日本水大賞委員会 ((公社)日本河川協会内)
〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-6-5
麹町 ECK ビル 3F
Tel: 03-3238-9771 Fax: 03-3288-2426
E-mail: taisyo@japanriver.or.jp

野田産業科学研究所, 野田産研研究助成の募集

募集期間 2024年9月2日(月)～9月30日(月)
応募資格 国内の大学, 公的研究機関およびこれに準じる研究機関に属する研究者
助成件数 研究助成6件, 奨励6件, 持続可能分野6件
助成金額 200万円/件, 優れた申請には助成金とは別に100万円を支給する
応募方法 野田産研 HP より電子申請
決定期間 2025年3月
詳細 URL <https://www.nisr.or.jp>
問い合わせ先

公益財団法人 野田産業科学研究所
〒278-0037 千葉県野田市野田 338
キックマン中央研究所内
Tel: 04-7123-5975 Fax: 04-7123-5953
E-mail: grant01@nisr.or.jp

鹿島学術振興財団 助成・援助プログラム

申請締切 2024年10月31日(木)
助成・援助対象 わが国のすべての大学や研究機関に所属する常勤の研究者または常勤の研究者から構成される研究グループ
募集プログラム

- (1) 研究助成
①一般研究助成 (当会からの推薦制度は終了。2025年度から直接申請方式となりました。)
②特定テーマ研究助成
(2) 研究者交流援助
①研究者海外派遣 (短期・長期)
②外国人研究者 招へい・受入れ
(3) 国際学術交流援助
①国際研究集会
②国際共同研究

申請方法 財団 HP 上の電子申請システムにて申請
詳細 URL <https://www.kajima-f.or.jp/>
問い合わせ先

公益財団法人 鹿島学術振興財団事務局
〒107-8502 東京都港区赤坂 6-5-30
Tel: 03-3584-7418 Fax: 03-5561-2016
URL: <https://www.kajima-f.or.jp/>

JST 2025年度 先端国際共同研究推進事業 (ASPIRE) 日蘭共同研究提案募集予告

科学技術振興機構 (JST) は, 昨年新しく先端国際共同研究推進事業 (ASPIRE) を立ち上げました。2025年度共同公募におきましては, オランダ科学研究機構 (NWO) との協力の下, 以下の通り, 日蘭共同研究提案の募集を行う予定です。

本公募では, 半導体分野に焦点をあてつつ, (集積) フォトニクス, 量子, ニューロモルフィック技術の分野における共同研究を募集します。

詳細情報: https://www.jst.go.jp/aspire/program/announce/announce_aspire2025_nl.html

問い合わせ先

(国研) 科学技術振興機構
国際部 先端国際共同研究推進室
E-mail: [aspire-nl\(@\)jst.go.jp](mailto:aspire-nl(@)jst.go.jp)

本冊子は「特集企画編」です。「原著論文編」は, 国立研究開発法人科学技術振興機構「科学技術情報発信・流通システム (J-STAGE)」に掲載しています。<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jswe/-char/ja/>

水生生物調査法に関する冊子等のご案内

本会では、環境省水・大気環境局と国土交通省水管理・国土保全局編の水生生物による水質判定に関する冊子と下敷きを販売しております。これらは、小・中学生をはじめ、一般の方々にも身近な自然に接しながら、水辺の環境を理解していただくために大いに役立っております。水生生物調査法にご関心のある方に、広くご利用いただくようお願いいたします。購入ご希望の方は、下記「購入申込書」にご記入のうえ、E-mailまたはFaxにてお申し込みください。学会ホームページ（下記URLまたはQRコード）からも「購入申込書」をダウンロードできますのでご利用ください。

(<https://www.jswe.or.jp/community/booklet/index.html>)



記

定価表 (円)

品 名	価 格
1. 川の生きものを調べよう (冊子)	188 円 (税抜 171 円)
2. 川の生きものを調べよう (下敷)	198 円 (税抜 180 円)

送付先1ヶ所あたりの購入数が合計500部以上の場合は、当方で送料を負担いたします。
500部未満は実費をご負担願います。

【申込先】 公益社団法人 日本水環境学会

〒135-0006 東京都江東区常盤2-9-7 グリーンプラザ深川常盤201号

Tel : 03-3632-5351 Fax : 03-3632-5352 E-mail : infobio@jswe.or.jp

購 入 申 込 書

品 名	価 格	購入数
1. 川の生きものを調べよう (冊子)	188 円 (税抜 171 円)	部
2. 川の生きものを調べよう (下敷)	198 円 (税抜 180 円)	枚

送付先1ヶ所あたりの購入数が合計500部以上の場合は、当方で送料を負担いたします。
500部未満は実費をご負担願います。

上記のとおり購入を申し込みます。

(西暦) 年 月 日

〔送り先〕

所在地 〒

名 称

担当者名 電 話 FAX

支払い方法 (いずれかに○印) (銀行振込 または 郵便振替)

*お振り込みの際の振込手数料はご負担をお願いいたします。

*請求書の様式、宛先、納入日、その他ご指定がございましたらご記入ください。